




タイトル「2015年度 教養科目シラバス」、フォルダ「2015年度 教養科目シラバス-2015年度「教養の森」科目群【科目群5】」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	JAPAN STUDY2		
担当教員	山田 佳古		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	金 2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 人数制限有（200名）、交換留学生・日本語日本文化研修生・単位互換学生・学部開放授業登録者は別枠受講可 【JAPAN STUDY 1】取得者は受講不可		
科目名（英語表記）	JAPAN STUDY2		
授業の概要・ねらい	<p>・この授業は、留学生と日本人学生が、幅広い視点から「日本を学び、考える」授業である。日本の風土や歴史、伝統的な日本文化、また現在の日本社会、いま起きている社会問題などについて、その分野の専門の講師に講義をして頂き、自分の国の文化・社会を様々な角度からとらえ、世界各国の事情と比較しながら国際理解を深める。</p> <p>・留学やインターンシップで海外に行く学生にとっては、自分の国の文化を知り、外国で的確に「日本」を紹介できる力を身につける機会となる。</p>		
授業計画	<p>毎回、異なる担当教員によるリレー講義（議論を含む）の形で進められる。          多数の教員が交代で担当するため、順序の調整や詳しい授業内容、授業形態については、最初の「授業の概要」で説明する。以下は予定である。</p> <p>第1回：「オリエンテーション」長友文子（和歌山大学）          第2回：「日本の笑い“狂言”の魅力にふれる」善竹隆司（大蔵流狂言方）          第3回：「茶道史及び茶の湯の心(仮)」加田明美（和歌山大学）          第4回：「日本人と武士道」江田裕介（和歌山大学）          第5回：「いけばなで環境を守る」辻井ミカ（嵯峨御流 華道家）          第6回：「～わが国が誇る総合舞台芸術」河内厚郎（演劇評論家）          第7回：「わかやまの祭礼とその歴史-秋祭り編」吉村旭輝（和歌山大学）          第8回：「日本食と文化」近藤一樹（料理研究家）たのか          第9回：「日本の住について」宗田好史（京都府立大学）          第10回：「衣生活から日本を見る」今村律子（和歌山大学）          第11回：「日本人のこころの様相～和歌山の人々～(仮)」前谷 彰（高野山大学）          第12回：「合気道 その始まりは和歌山 中 俊博（和歌山大学）          第13回：「日本語から日本を学ぶ」長友文子（和歌山大学）          第14回：「Anime：漫画の底力」津堅伸之（京都精華大学）          第15回：「まとめ」長友文子（和歌山大学）</p>		
到達目標	日本の風土や歴史、文化、社会などについて、世界各国と比較しながら、共に考え、議論することを通して、国際理解を深め、自国の文化を海外で紹介できるようになる。		
成績評価の方法	出席・授業参加度、毎時提出のレポート、後期試験（レポート）など総合的に評価する。3分の1以上欠席すると単位取得は不可。		
教科書	科目を通しての教科書は使用しない。各時間ごとに、必要に応じて資料などを配布する。		
参考書・参考文献	必要に応じて指示する。		
	日本文化・異文化に関心があり、積極的に授業に参加する留学生、日本人学生を歓迎する。成績には、出席や感想文、授業態度などが反映される。		

履修上の注意・メッセージ	この授業は、異文化・異世界体験のためのタイ・プログラム（WTP）、インドネシアプログラム、マレーシアプログラム、また、海外語学演習に参加するに参加する学生の推奨授業である。海外での日本語アシスタントを希望する学生も履修するのが望ましい。
履修する上で必要な事項	特になし
受講を推奨する関連科目	特になし
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。
その他連絡事項	毎回、授業の最初に必ず学生証をICカードリーダーにかざすこと。学生証を忘れた場合は、欠席となるので注意すること。

